



前橋商工会議所青年部 緑水会



前橋商工会議所青年部創立35周年記念誌
特別編集「水と緑」第53号 平成23年度版



Pass The BATON

Maebashi Yong Entrepreneurs Group 35th Anniversary



「伸びゆく大地」

作詞 石井 耕二
作曲 石井 敏

一 伸びゆく大地 日本のは
伸びゆく大地 青い空
広がる街なみ 青い空
集える仲間はずれぞれに
地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため
商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる

二 幾山河を 越えていく
幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど
夢追う気持ちは 忘れない
人と人が 語りあい
心と心を 結ぶため
商工会議所 青年部
時代を我らは 先駆ける

三 自由の海の 渚には
自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる
歴史の舵は 一つの世も
熱ある者が 取ってきた
豊かな郷土を 築くため
商工会議所 青年部
明日に我らは 船出する

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の
礎となろう

YEGとは

これまで日本各地で広く使用されている CCI (CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY)を中心に、その下にゴシック体でデザインした商工会議所青年部の愛称 YEG を配したシンプルで馴染み易いデザインとなっています。愛称名 YEG は商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野をもった経営者・YOUTH ENERGY GENERALIST)を表しています

緑水会

題字 前橋商工会議所 第十三代会頭 曾我 孝之

前橋商工会議所青年部 創立35周年記念誌

目次

ごあいさつ

前橋商工会議所青年部 代表幹事 町田 憲昭	4
-----------------------	---

祝辞

群馬県知事 大澤 正明	5
前橋市長 山本 龍	
前橋商工会議所 会頭 曾我 孝之	6
群馬県商工会議所青年部連合会 会長 福田 雅之	
緑水会 初代表幹事 近藤 斗茂璽	7
前橋商工会議所緑詩会 会長 吉田 隆彦	
創立 35 周年記念事業 実行委員長 阿部 知章	8

創立 35 周年記念事業

35 周年記念大会	9
-----------	---

30 周年から 35 周年へ

歴代代表幹事	11
2007 年～2012 年(平成 19 年度～平成 24 年度)	10～20
平成 24 年度新体制・組織図	21～22



前橋商工会議所青年部
代表幹事 町田 憲昭

ごあいさつ

「Pass the BATON」

前橋商工会議所青年部「緑水会」は、この度、創立35周年を迎えることができました。このように素晴らしい会を作られ、そして、歴史を連綿と紡いでいただいたことに対しまして、全ての先輩方に敬意を表するとともに、ご協力をいただいた前橋商工会議所、前橋市と前橋市民の皆様そして、全国YEGのメンバーの皆様をはじめとする多くの関係者の方々に対して、現会員105名とともに心より感謝の意を表します。

そして、この喜びと感謝の気持ちは同時に、我々現会員へ使命感を認識させるものと言えます。あらためて、先人が積みあげた歴史の重みを噛み締め、この先、この素晴らしい会をさらに発展継続させていくことが我々の責務と考えています。

そこで、「Pass the BATON」を合言葉に、会員相互で価値観を再認識し、今の我々の活動の大切さを知り、絆の力を強め、未来に向かって歩み始める年にしたいと考えています。

昨年の東日本大震災と、これに伴う福島第一原発の事故により、国民的な感心が急激に高まった、日本国土の防災と日本のエネルギー供給の問題は、国民生活や企業活動への深刻な影響を与えかねない、いままさに直面する課題として提起されました。また、遠からぬ先に現実となる超高齢化社会の問題は、税と福祉の抜本的な改革を迫る喫近の課題となっています。さらに、国際的な政治経済についても、いわゆる2012年問題から始まり、EUや中東の諸問題など、不安定な要素が多く、安穩としていられる状況にはありません。我々緑水会メンバーもまなじりを決して、この状況に立ち向かうべき時に来ていると感じます。

そこで、「Pass the BATON」。バトンをただ渡すのではなくて、繋がりを感じ、価値観を共有することです。それは、自分たちの活動に対する責任感、繋いでいく使命感、そして、YEGの一体感の輪を力強く広げるバトンです。

したがって、当会、当会員も、次なる40周年に向けては、より一層の努力が必要だといえます。私は緑水会の存在意義、目的は、「会員それぞれの企業の発展と前橋市の活性化を両輪ととらえ活動し、その活動を通じての会員自らの成長の場である」と考えます。会員それぞれが個人的には自らの依って立つ企業の発展を、また、地元の青年経済人としては地域社会の発展のため地に足をつけた努力をと、そうした力を結集し緑水会の力をつけること、それが前橋市の活性化につながるのだと思っています。

さて、平成27年には、日本YEG発祥の地である前橋市が日本商工会議所青年部(日本YEG)主催で日本全国400余の各青年部の会長が集う「全国会長研修会前橋会議」の予定地に決まりました。これを成功させるべく、今年度よりその準備を進めていきたいと考えています。

そして、35周年という節目である本年は、前橋市も市制施行120周年を迎えます。我々前橋市に基盤を置いて経済活動を行っている会員として、市制が施行された当時の前橋の経済人の姿に学ぶとともに、35年前にこの緑水会を創りあげていただいた諸先輩方の心意気に学び、より緑水会の発展と前橋市の発展のため一層努力して参るつもりです。

具体的には、今年は中心商店街活性化を目的とするイベントの開催を企画しております。

結びに、会員の皆様と関係各位のますますのご活躍を心より、ご祈念申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援とご協力を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。今後も「前橋商工会議所青年部・緑水会」をどうぞよろしくお願い申し上げます。



群馬県知事
大澤 正明

前橋商工会議所青年部 創立35周年を祝して

前橋商工会議所青年部が創立35周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。貴青年部は、昭和52年6月の創立以来、前橋の若き経済人研鑽の場として、地元経済の発展や社会福祉の増進に大きく寄与されてきました。また、前橋まつりや前橋花火大会などの行事の運営にも携わるなど、地域活性化の原動力として、住みよいまちづくりに貢献してこられました。企業の発展、地域経済の活性化と魅力ある郷土づくりを通じ、会員の資質向上を目指すという貴青年部の理念と活動は、35年の歳月を経た今でも色褪せることなく続いております。これもひとえに、歴代代表幹事さんを始め、役員・会員皆様のご尽力のたまものと改めて敬意を表する次第であります。

さて、本県経済は昨年発生した東日本大震災や原発事故の風評被害、電力不足等により、かつてない厳しい状況に直面いたしました。さらに、歴史的な円高等により経済活力や雇用にも影響が及び、産業の空洞化が懸念されるなど、先行きはなお不透明な状況にあります。

県といたしましても、皆様が安心して経済活動に専念できるよう、新しい総合計画「はばたけ群馬プラン」において「産業活力の向上・社会基盤づくり」を目標に掲げており、その実現に向け着実に施策を推進してまいります。

さらに、地域経済を支える中小企業が元気であることが不可欠であるという認識の下、昨年6月に制定した「群馬県中小企業憲章」の理念に基づき、きめ細かい中小企業振興施策に積極的に取り組んでまいります。

現下の厳しい経済状況を乗り越えるためには、貴青年部を始めとした若い世代の柔軟で迅速な行動が不可欠であります。創立35周年を契機に、次世代を担う若き経済人として、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

結びに、前橋商工会議所青年部のますますのご発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



前橋市長
山本 龍

前橋商工会議所青年部緑水会の 創立35周年を迎えて

このたび、前橋商工会議所青年部緑水会が創立35周年を迎えられましたことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

緑水会の皆様には、昭和52年の発足以来、会員相互の密接な連携のもと、地域貢献活動や観光推進活動、さらには日本商工会議所青年部の第1回全国大会開催や初代会長の輩出等を通じて、本市はもとより、商工業をはじめとするわが国の発展に多大なご貢献をいただいております。歴代の会員皆様に対し、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、ご承知のとおり、人口減少や社会のグローバル化が進展するとともに、引き続き電力供給の制約が懸念されるなど、地域経済を取り巻く環境は大変難しいものとなっております。

こうした中、今年、市制施行120周年という節目の年を迎えております本市といたしましては、地域の方々と共に歩み、支え合い、助けあうことをより一層重視するとともに、先人により培われてきた歴史や文化を大切にしながら、「産業や人材を育み、人が住みやすく自然に優しい文化豊かな街づくり」を進めてまいりたいと考えております。

どうか緑水会の皆様には、創立35周年を契機に連携をますます深められ、今後とも地域社会、さらにはわが国の未来を支える若きリーダーとして優れた才能を発揮していただきますとともに、県都前橋を再生するため、商工観光行政をはじめとする前橋市政に対しましても、引き続き、格別なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、35周年を記念したさまざまな事業にご尽力されております関係皆様へ深く敬意を表しますとともに、前橋商工会議所青年部緑水会のますますのご発展と、会員皆様のさらなるご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。



前橋商工会議所
会頭 曾我 孝之

35周年を祝して

前橋商工会議所青年部が創立35周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げますとともに、今日の青年部の歴史を築いていただいた青年部の会員並びに諸先輩方、これまで当青年部にご指導ご支援をいただきました関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

当青年部は、昭和52年に他都市に先駆けて設立され、昭和54年に第1回の関東ブロック大会、昭和56年に第1回の全国大会を前橋で開催、昭和58年には初代商青連代表幹事を輩出するなど、常に全国の商工会議所青年部をリードし続けてまいりました。

そして、前橋の街づくりをはじめ、前橋花火大会や前橋まつりなど市をあげて実施するイベントに主体的役割を果たすとともに、様々な事業に積極的に取り組み、商工会議所事業の一翼を担う重要な組織として、また地域社会の担い手としてその存在価値を高めてまいりました。さらには北関東3県県庁所在地商工会議所青年部との連携や、東日本大震災復興のために物資や義援金など物心両面にわたる支援にご尽力いただくなど、地域を超えた活動を積極的に展開していることは称賛に値することです。

このように常に前を向き、新しい視点で様々な物事にチャレンジしていく青年部会員の姿勢は、先行き不透明感が強まるわが国経済、そして厳しさを増す地方都市において、これからの商工会議所、そして地域の経済界を支えていく上で、ますますその重要性を増していくものと思われまます。

今後とも、前橋を基盤として県内全域から全国へ向かって、幅広い人脈と柔軟な発想、若い活動力を最大限に発揮し、元気な企業、元気な前橋、元気な日本を目指して活動を続けていただくとともに、経済界の若き担い手である青年部の皆様方のご活躍と前橋商工会議所青年部の更なる発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



群馬県
商工会議所青年部連合会
会長 福田 雅之

35周年を祝して

前橋商工会議所青年部緑水会が創立35周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。また、前橋商工会議所青年部緑水会の皆様におかれましては、常日頃より群馬県商工会議所青年部連合会の活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

前橋商工会議所青年部緑水会は昭和52年の発足以来、第1回全国大会開催や初代日本YEG会長輩出といった、全国の青年部の中でも格別の伝統を有しております。これも歴代先輩の皆様方のご尽力、また前橋市や親会の皆様方のご支援、そして現会員のご協力の賜物であり、皆様に対して改めて敬意を表したいと思います。この輝かしい歴史をさらに次の世代へとしっかり継承していただき、さらに大きな緑水会へと育てていただければと思います。

今年で大震災から1年が経過しました。被災地はまだまだ復旧に時間がかかり、我々を取り巻く経済環境は依然厳しい状況となっております。そのような中、群馬県商工会議所青年部連合会は今年創立30周年を迎えます。これを契機に原点に立ち返り、9つの単会と共に力を集結し、最大限に力を発揮できるよう連携を深め、この環境に屈せず立ち向かって参りたいと思います。

結びに、前橋商工会議所青年部緑水会が、節目の35周年を向かえ、県青連の手本となるような発展を期待しますとともに、会員の皆様のご健勝ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



緑水会 初代表幹事
近藤 斗茂重

創立35周年にあたり

このたび、前橋商工会議所青年部(緑水会)が創立35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

将来にわたって充実した会議所活動を展開するには若い力が必要と考え設立した青年部。4年後の昭和56年11月、全国各地から145の商工会議所青年部より約700名の若手経営者を迎え第1回全国大会を開催。これを契機に現在の青年部は、全国448組織、約28,000人以上が活動する大きな組織に発展し、地域社会に大きく貢献されるなど、当時の組織の基盤づくりが継続されていることに対し初代表幹事としてお礼申し上げます。

さて、東日本大震災や福島原発の事故に伴う放射能汚染と電力不足、タイの大洪水などに長期化している超円高が加わり、生産・経済活動の縮小を余儀なくされるなど私どもを取り巻く環境は変化の激しい状況が続いております。このような中で、東京大学大学院経済学研究科教授の伊藤元重氏が、若手経営者の皆さんに次の事を話しています。

『皆さん、3つの目を大切にしましょう』。それは「鳥、虫、魚」の3つの目のことで、1つめの「鳥の目」は、上空から世の中を見ましよう。つまり自分の仕事の枠外から物事を見る勉強もして、異なった視点を身につけ、仕事に活かすということです。2つめの「虫の目」は、自分の周囲にある細かい点まで注意を払う目を持ち、大雑把に物事をやってはいけないということです。最後に「魚の目」は、経済の潮流の変わり目を見極め、時代はどの方向に動いているのか勉強をしようということです。

この「3つの目」を参考にさせていただき、35周年を一節として緑水会会員の一人ひとりが各々の分野で、自負と誇りを持って前進していただきたい。そして、誰からも一目おかれる品格の高い「永遠に魅力のある青年部」であることを祈念し、創立35周年の歩みに心から拍手を送り、お祝いの言葉といたします。



前橋商工会議所緑詩会
会長 吉田 隆彦

創立35周年を祝して

昭和52年(1977年)6月4日、近藤斗茂重氏設立発起人代表のもと青年部は設立された。当時私は30歳で入会した。その後青年部活動を通して、前橋の経済社会を垣間見るきっかけになり、多くの知人・友人・仲間を得ることができた。真に青年部組織ならびにその活動の機会を与えてくださった方々に感謝しております。

現在緑詩会員(緑水会卒業者)は211名で・物故会員は21名であります。35年間に計232名の青年経済人がこの青年部で活動する場となったことは、前橋商工会議所においては前橋の経済社会にとっても大きな力となり得たことでしょう。その後、緑詩会員の多くの方々は企業の代表者になるとともに、会議所の議員にも名を連ね、さらに大きな舞台での活躍の場をひろげております。

緑水会員は現在105名であります。その中には緑詩会員の2世の方も見受けられます。ぜひ、青年部活動を満喫しつつ自らの企業発展に尽力されることが、緑水会の更なる発展の礎に繋がると確信しております。今日からまた新しい歴史への一歩へとなることを祈念しお祝いの言葉といたします。



創立35周年記念事業
実行委員長 阿部 知章

35周年を迎えて

前橋商工会議所青年部・緑水会は、昭和52年6月4日の創立35周年を迎えることができました。これもひとえに、ここまで当会を支えていただいた関係各位、当会を作り発展させてきた先輩会員皆様のご理解、ご指導、ご協力の賜と感謝申し上げます次第であります。

この節目の年にあたる本年、実行委員会においてその開催趣旨について様々な意見が寄せられました。当然のことながら、関係各位の皆様、先輩会員の皆様への感謝を表す場としてが第一義ではあります。それに加えて、経済状況、社会環境がめまぐるしく変化する時代において、毎年10名ほどの会員が卒業する新陳代謝の激しい会であるこの緑水会では、周年事業を行うことによって「過去に行われた事業に対して、現役会員が理解、検証をし、その結果、会、会員個々のレベルアップするという目的」こそが重要であるという結論に達することができました。改めて、この35周年が30周年に作られた「青年経済人に何が求められるのかを考え、原点に立ちかえり実行する。」という理念のもと、宣言文を再認識し、これからの活動をしていく良い機会でありたいと思っております。

また、当会は、日本YEGの歴史の中において、第1回関東ブロック大会、第1回全国大会を担って参りました。そのような歴史をもつ当会が、約7年間の歳月においてさまざまな議論を重ね、「平成27年全国会長研修会」を関東ブロックにおいて開催予定地として選定していただきました。次年度における日本YEG正式決定まで、さらには、開催される平成27年11月まで会員一丸となり準備を進め、来たる本大会では前橋らしさを表現して行くことこそが、35年の歴史の成果であると考えております。

前橋商工会議所青年部・緑水会は、この35周年を絶好の機会とし、地域の発展、自らの企業の発展のため、会員相互の力を高め活動をしていく所存でありますので、今まで以上の皆様のご理解、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。



35周年実行委員

- | | | |
|--------|----|----|
| 実行委員長 | 阿部 | 知章 |
| 副実行委員長 | 関 | 直人 |
| 副実行委員長 | 神澤 | 敏夫 |
| 副実行委員長 | 田子 | 宏美 |
| | 吉田 | 将輝 |
| | 寺澤 | 達也 |
| | 立見 | 公一 |
| | 関 | 隆行 |
| | 塩原 | 健 |
| | 池津 | 崇延 |
| | 中島 | 伸二 |
| | 斉藤 | 美絵 |
| | 佐藤 | 有紀 |
| | 樋口 | 拓人 |

前橋商工会議所青年部 創立35周年記念大会

日時:平成24年6月23日(土)

第一部 記念式典

17:00 前橋商工会議所 ローズ

式次第

開会

国歌「君が代」斉唱

黙祷

商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱

商工会議所青年部「綱領」朗読および「指針」唱和

前橋商工会議所青年部代表幹事 挨拶

前橋商工会議所会頭 挨拶

祝辞

来賓紹介

来訪YEG紹介

歴代代表幹事感謝状贈呈

事業紹介

閉会

第二部 記念祝賀会

18:30 前橋商工会議所 サクラ



前橋商工会議所青年部創立35周年

30周年から35周年へ

(2007年 / 平成19年度～2012年 / 平成24年度)

歴代代表幹事



初代表幹事
昭和52、53、54年度

こんどう ともし
近藤 斗茂璽



2代表幹事
昭和55、56年度

そが りゅういち
曾我 隆一



3代表幹事
昭和57、58年度

いけした よういち
池下 洋一



4代表幹事
昭和59、60年度

まちだ きんいちろう
町田 錦一郎



5代表幹事
昭和61年度

いけだ みのる
池田 稔



6代表幹事
昭和62、63年度

よしだ たかひこ
吉田 隆彦



7代表幹事
平成元年、2年度

かし あつよし
岸 篤美



8代表幹事
平成3年

あらか よしたか
荒木 好孝



9代表幹事
平成4年

かない よしかず
金井 良和



10代表幹事
平成5年

かない としゆき
金井 俊幸



11代表幹事
平成6年

しおばら やすお
塩原 康雄



12代表幹事
平成7年

こばやし まさあき
小林 正明



13代表幹事
平成8、9年

つのだ ゆうじ
角田 有司



14代表幹事
平成10年

たなか いっこう
田中 一幸



15代表幹事
平成11年

とまる かずとし
都丸 和俊



16代表幹事
平成12年

はとり わたる
羽鳥 亘



17代表幹事
平成13、14年

おぞね ひであき
小曾根 英明



18代表幹事
平成15年

やまぎし なおき
山岸 直樹



19代表幹事
平成16、17年

しまだ やまと
嶋田 大和



20代表幹事
平成18、19年

いしい しげのり
石井 繁紀



21代表幹事
平成20年

たじま ひろあき
田島 宏明



22代表幹事
平成21年

まえだ おさむ
前田 修



23代表幹事
平成22、23、24年度

まちだ のりあき
町田 憲昭

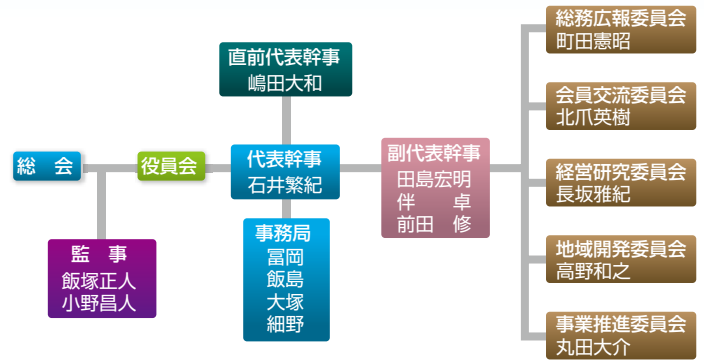


ryokusui
Maebashi Yong Entrepreneurs Group



20代表幹事 石井 繁紀

「新たな挑戦と創造。持続と進歩、魅力ある貢献する緑水会へ」をテーマに事業を推進しました。
30周年ということから、計画事業はもとより、広報誌「水と緑」の全面改定、全国会長研修会議誘致検討に向けて視察強化、前橋商工会議所定款への位置づけから当会規約に「緑水会」という通称を正式に位置づけるなどの次代への基盤づくりにも取り組みました。



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

緑水会の主な行事

- 5日 観桜例会
- 8日 第16回ローズ・クィーンコンテスト1次審査
- 22日 第16回ローズ・クィーンコンテスト最終審査
- 20日 ファミリー親睦例会(ます釣り大会)
- 26日 全国YEGサッカー大会 埼玉大会(26日～27日)
- 8日 創立30周年記念式典・記念講演会
講師：榎まちづくり長野 参与 服部年明氏
- 25日 第61回定時総会
- 8日 前橋市の中心市街地をあるいてみよう(七夕まつりクリーン運動)
- 25日 行政との懇談会 テーマ「未来の前橋について」
講師：前橋市長 高木正夫氏
- 11日 第52回前橋花火大会
- 16日 親睦事業 ザスバ草津応援企画(県宮陸上競技場)
- 24日 YEG東京サミット(24日～25日)
- 7日 海外視察研修会 中国 上海(7日～9日)
- 6日 第27回商工会議所青年部関東ブロック大会平塚大会(6日～7日)
- 13日 第60回前橋まつり(13日～14日)
- 14日 経営知識を学例会 テーマ「経営のための精神：人間性の構築について」
講師：国際空手道連盟 極真会館館長 松島良一氏
- 16日 第27回YEG全国大会 千葉大会及び先進都市視察(16日～17日)
- 4日 合同親睦例会
- 15日 青年部クリスマスパーティー
- 7日 新春例会・懇親会
- 27日 卒業生送別記念事業及び先進都市視察 東京・横浜(27日～28日)
- 3日 第3回ふれあいフェスティバルin前橋「みんなで花壇をつくろう」弁天ワッセ
- 8日 会長研修会議 長崎大会(8日～9日)
- 12日 新入会員研修会
- 17日 第16回上州空つ風風揚げ大会in前橋
- 24日 第62回定時総会



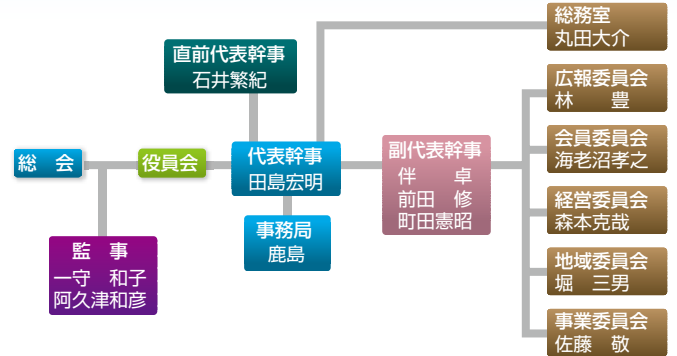
前橋市の主な行事

- 第13回国際癌治療増感研究会を開催
消費者講座「楽しく食育 幸福は口福から」
- ぐんま地域文化創造フォーラム
第38回日本看護学会「母性看護」
- 第9回日本神経内分泌学会を開催
出張1なんでも鑑定団in前橋開催
2じも起業塾(1日目)を開催
- 第9回日本橋樑学会学術集会を開催
第15回秋原明太郎賞が伊藤比呂美氏に決定
- 第34回日本神経内分泌学会を開催
第24回全日本小学生ソフトテニス選手権大会開催
第57回全日本実業団卓球選手権大会開催
全国競輪主催地議会議長会役員会
- 全国シニアスーパーシニアバスケットボール大会開催
2じも起業塾(2日目)を開催
第35回全日本美容技術選手権大会
- 朔太郎音楽祭「第2回全国マドリオン四重奏コンクール」
出張1なんでも鑑定団in前橋開催
2じも起業塾(1日目)を開催
- JR前橋駅に「観光案内所物産館」リニューアルオープン
前橋フザ元氣21(旧LIVIN前橋店)オープン
- 第31回皮膚脈管腫瘍病研究会開催
前橋初市まつり
前橋市企画「新春にぎわい茶席」
前橋・高崎連携文化財展関連イベント「勾玉づくり」
第52回全日本実業団駅伝ユナイター駅伝開催
- 第18回関東高等学校バスケットボール新人大会
手づくりアイデアマイバッグ展
- 第25回全国都市緑化フェア



21代表幹事 田島 宏明

年度テーマ 『熱き語らいの場』
 創立 30 周年を契機として中長期的計画を意識しました。委員会名称を一新し、委員会の専門性を高め、各事業の意義を検証しながら会員間の活発な意見交換の場を作っていました。折しも、商工会議所組織の大きな変革年度にあたったこともあり、会の自主独立的な運営を模索し、取り組んだ一年となりました。



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

緑水会の主な行事

- 4日 第17回ロースクイーンコンテスト最終審査(緑化フェア会場)
- 6日 第17回ロースクイーンコンテスト1次審査
- 20日 第17回ロースクイーンコンテスト最終審査(緑化フェア会場)
- 17日 会員親睦会(カートレース大会)
- 25日 第4回ふれあいフェスティバル
- 24日 第63回定時総会
- 7日 第1回親睦例会
- 13日 第3回経営勉強会 テーマ「事業継承について」
- 19日 青年部クリスマスパーティー
- 4日 合同親睦例会
- 21日 曾我会頭との懇談会
- 7日 第28回 YEG 全国大会 びわ湖大津大会
- 1日 緑水会 & 群馬ダイヤモンドベガサス少年野球教室
- 18日 第28回商工会議所青年部関東ブロック大会真岡大会
- 11日 第60回前橋まつり(11日～12日)
- 28日 群馬ダイヤモンドベガサス試合観戦
- 15日 ファミリー親睦例会(ます釣り大会)
- 20日 講師：群馬ダイヤモンドベガサス(榎群馬スポーツマネジメント 代表取締役 糸井文之氏) 講師例会 テーマ「野球(独立リーグ)を通して地域おこしを!!」
- 9日 第53回前橋花火大会
- 6日 祭り視察研究会 山形花笠祭り・仙台七夕祭り(6日～7日) 講師：第1回に同じ
- 13日 第2回経営勉強会 テーマ「会計・資金繰り・税務上の利益の話自分で出来る債権回収」
- 20日 第2回七夕まつりクイズ運動
- 7日 講師：(株)加藤会計センター 税理士三輪洋之氏 大澤司法書士事務所 代表 大澤栄一郎氏
- 4日 第1回経営勉強会 テーマ「決算書と会社法について」
- 4日 広報拡大例会(会員専用ウェブサイトについて)
- 24日 第64回定時総会
- 19日 経営勉強会「ISOについて」
- 13日 先進企業視察「東京証券取引所」「東京ビックサイト・健康博覧会」(13日～14日)
- 24日 新入会員研修会
- 21日 卒業生送別記念事業及び街づくり視察 富士宮(20日～21日)
- 20日 第26回 YEG 全国会長研修会 浜松会議(20日～21日)
- 15日 第17回上州空つ風凧揚げ大会 in 前橋
- 15日 ウェブサイト・フォロー研修会
- 7日 新春例会・懇親会
- 7日 新春例会・懇親会
- 19日 講師：第1回、2回に同じ
- 13日 第3回経営勉強会 テーマ「事業継承について」



第17回ロースクイーンコンテスト最終審査 第63回定時総会 群馬ダイヤモンドベガサス少年野球教室 第17回上州空つ風凧揚げ大会 in 前橋 街づくり調査視察@富士宮

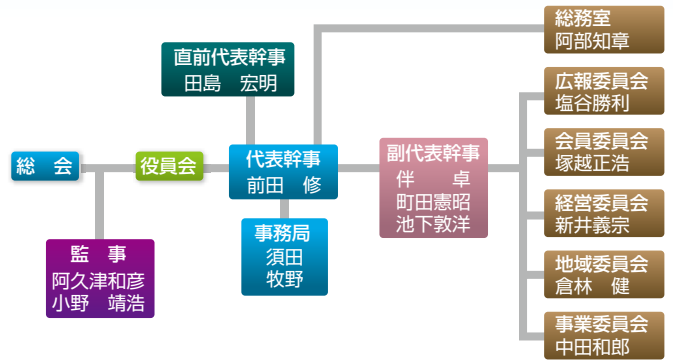
前橋市の主な行事

- 第9回前橋シニアマラソン
- 第10回前橋市長杯全国社会人選抜バレーボール
- 第25回全国都市緑化フェア
- 第31回前橋菓子まつり
- 第17回ばら制定都市会議
- 第29回日本消化器病学会関東支部例会
- 第29回東日本中学校選抜剣道大会
- 第21回日本喉頭科学会総会・学術講演会
- 第6回群馬リハビリテーション医学研究会
- 日本リハビリテーション医学研究会関東地方会生涯教育研修会
- 第13回学術集会 in 前橋
- SSJ普及協会 第13回学術集会 in 前橋
- 関東地区養護教諭部会総会並びに研究協議会
- まえはし自転車フェスタ2008
- 全国一般医療部会第24回交流会
- 第8回国際プロテインホスファターゼカンファレンス
- 第6回全国アマチュアちんどん競演会 in 前橋
- 平成20年度第63回関東畜産学大会
- まえはしフェスタ2008
- 秋のバラフェスタ
- 第12回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
- 第27回日本認知症学会
- 第44回POTIA(精神科作業療法協会)全国研修会
- 国際交流サッカー大会 U-12 前橋市長杯
- 第25回 P.I.X.E シンポジウム
- 第84回日本学生選手権水泳競技大会飛込競技
- 第8回 大学生・高校生のためのスポーツ医学セミナー
- 第63回関東都県算数・数学教育研究群馬(前橋)大会
- 第51回全国医学学生セミナー in ぐま
- 平成20年度第36回関東中学校卓球大会
- 第32回全国高等学校総会文化祭
- ※前橋を舞台に撮影されました。
- 映画「クライマーズ・ハイ」公開
- 音楽教育の会 第53回全国大会
- 第39回関東ろう婦人研修集会
- 平成20年度関東高等学校なごなた競技大会
- 第3回食育推進全国大会
- 兼第41回関東甲信越国公立幼稚園長研究協議会
- 第59回全国国公立幼稚園長総会・研究大会



22代代表幹事 前田 修

『変革と挑戦』をテーマに新たなステージへ足を踏み入れました。前橋の活性化を図るため「ご当地グルメの試作」から始まり、「全国会長研修会誘致」を目指しての検討委員会を発足、そして視野の拡大として広域団体との連携「北関東3県県庁所在地商工会議所青年部連携事業(MUM)」と一歩を踏み出す勇気を持つ新制緑水会としての取り組みを行った一年間でした。



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

緑水会の主な行事

- 5日 第18回ローズ・クイーンコンテスト1次審査
- 6日 新年度4月例会
- 19日 第18回ローズ・クイーンコンテスト 最終審査
- 19日 第1回地域勉強会 テーマ「富士宮に学ぶ前橋の地域発展」
講師：富士宮やきそば学会運営専務 渡辺孝秀氏
- 24日 ファミリー親睦例会 そば打ち体験教室
- 13日 第1回経営勉強会 座禅会 会場：曹洞宗 高岑院
- 24日 第65回定時総会
- 12日 7月環境奉仕活動例会 セタまつりクリーン運動
- 16日 経営勉強会 テーマ「制度融資&助成金」
講師：三輪委員(経営)、須田(事務局)
- 15日 第2回MUM前橋会議 前橋・宇都宮・水戸YEG連携構想
- 8日 第54回前橋花火大会
- 28日 全国会長研修会誘致検討委員会発足
- 5日 第3回経営勉強会 「滝行にチャレンジ」赤城不動の滝で心身を清めよう会
- 24日 経営例会 テーマ「緑水会員としての心構え」
講師：田中一幸・都丸和俊・小曾根英明先輩
- 15日 第2回地域勉強会
講師：日本ベジタブル&フルーツマイスター 田村善男氏
- 9日 関東ブロック大会静岡大会(9日～10日)
- 10日 第61回前橋まつり(10日～11日)
- 24日 第1回地域活性ワークショップ「B級グルメで街おこし」
- 6日 卒業生送別記念事業 沖繩本島(6日～8日)
- 12日 合同親睦例会
- 15日 第2回緑水会&群馬ダイヤモンドベガス少年野球教室開催
- 27日 全国会長研修会議 奈良まほろば大会(27日～28日)
- 9日 群馬県青連若手後継者等育成事業 経営講演会
- 5日 第2回地域活性ワークショップ
- 19日 青年部クリスマスパーティー テーマ：「緒が楽しい、みんなが集うクリスマス」
講師：日本銀行前橋支店 支店長 柴山卓也氏
- 7日 新春例会
- 22日 MUM宇都宮会議 前橋・水戸・宇都宮YEG連携構想
- 14日 第18回上州空っ風凧揚げ大会 in前橋
- 23日 新入会員研修会
- 5日 第29回全国大会 えひめ松山大会(5日～7日)
- 2024日 MUM北関東3県県庁所在地商工会議所青年部連携事業(水戸市)
視察先：朝日新聞社NHK日本放送協厚木シロロホルモン



ファミリー親睦例会(そば打ち体験教室) 第65回定時総会 赤城不動の滝で心身を清めよう会 ふれあいフェスティバル B級グルメ試食会 MUM北関東3県県庁所在地商工会議所青年部連携事業調印式

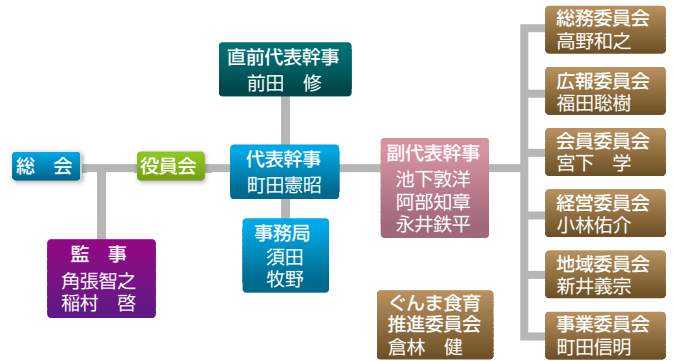
前橋市の主な行事

- 前橋中心商店街 ツナカリズム祭り
- 駅前ハイキング「桜咲く朝太郎の散歩道」
- まほろばサイクルフェスタふれあいサイクリング
- 第21回赤城山雪まつり
- 第50回全群馬近代マラソンコンクール
- 前橋初市まつり
- 第52回全国日本実業団駅伝 ユーイヤー 駅伝開催
- 前橋ウォーキングイベント
- 前橋大西祭
- 前橋ウォーキングイベント
- フジテレビ「おはよう日本」(第12回富士見産業界)のなまはく開園55周年記念セレモニー
- 「マンドリンのまち前橋」朝太郎音楽祭2009
- 上毛電気鉄道感謝フェスティバル
- 第61回前橋まつり
- 第32回前橋菓子まつり
- 唸れ!!上州太鼓 in前橋 フラザ元氣21
- 前橋やき並木フェスタ2009
- 月田近戸神社秋季祭(さくら)
- ホリデー in 前橋
- 群馬ドキュメンタリー映画祭
- 前橋花火大会
- 大胡祇園まつり
- 前橋セタまつり
- 田口町ぼたるまつり
- 赤城山つじまつり
- 第3回赤城山トレイルランニングレース
- ばら園まつり
- 赤城神社参道松並木ウォーキング
- 敷島公園まつり
- 第10回前橋シテイマラン
- 大胡クリンフラワー牧場さくらまつり
- 赤城南面千本桜祭り



23代代表幹事 町田 憲昭

混迷を深める経済情勢の下、先ず、緑水会の存在意義を明確にして、全ての会員が再認識することが肝要と考えました。そして、「人間、自然が一番」をテーマに、無理なく心地よい緊張感を共有し、筋肉質な緑水会活動を目指しました。チャリティーゴルフ等の交流事業を積極的に企画し、また、全国会長研修会前橋会議誘致に向けて、会として動き始めた年となりました。



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

緑水会の主な行事

- 4日 第19回ローズクイーンコンテスト 1次審査
- 5日 第19回ローズクイーンコンテスト 最終審査
- 18日 第19回ローズクイーンコンテスト 1次審査
- 17日 チャリティーゴルフ例会
- 13日 田植え体験
- 24日 第67回定時総会
- 2日 経営勉強会 座禅会 会場：曹洞宗 高岑院
- 19日 第2回「前橋うTON飯」試食会 会場：日典ラサ赤城野
- 26日 7月例会 ファミリー親睦例会 うどん打ち体験教室
- 14日 第55回前橋花火大会
- 30日 行政との懇談例会 テーマ「市民力・地域力を活かしたまちづくり」
- 6日 9月例会 林家たい平独演会 テーマ「笑顔のもとに、笑顔が集まる」
- 11日 海外視察研修会 台湾(11日～13日)
- 9日 第62回前橋まつり(9日～10日)
- 11日 厚木Bリーグランプリ視察
- 11日 関東フットボール大会 太田大会
- 22日 新入会員研修会
- 6日 MUM連携事業 宇都宮大会 in 宮の市
- 14日 第3回緑水会&群馬ダイヤモンドベガサス少年野球教室開催
- 20日 卒業生送別記念事業 京都・名古屋(20日～22日)
- 4日 第4回「前橋うTON飯」試食会 会場：アモート若宮
- 6日 合同親睦会
- 19日 青年部クリスマスパーティー
- 11日 おおた食と光の祭典「前橋うTON飯」出版
- 7日 新春例会
- 18日 もち米試食会
- 25日 前橋発B級グルメ「うTON飯」
- 4日 2月例会 群馬県青連特別講演会 テーマ「言葉の拳で打て」
- 5日 第19回上州空つ風凧揚げ大会 in 前橋 & ご当地グルメ大集合
- 18日 第30回全国大会みやぎ・仙台大会(18日～19日)
- 24日 第66回定時総会



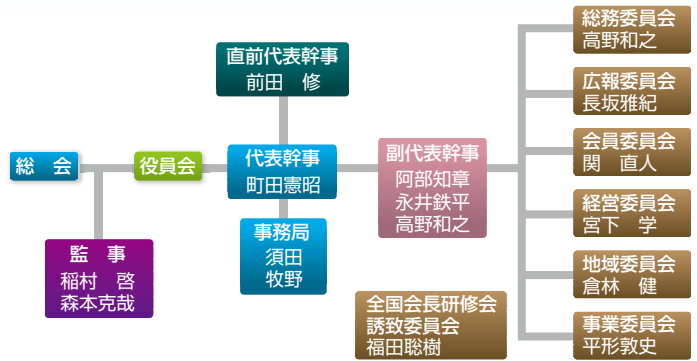
前橋市の主な行事

- 春のばら園まつり
- 第11回前橋シテイマラソン
- 大胡ぐりいんふらわー牧場桜まつり
- 赤城南面千本桜まつり
- 田口町ぼたる祭り
- 荻窪公園アジサイまつり
- 赤城山つじまつり
- 大胡祇園まつり
- 前橋セツまつり
- 赤城山ヒルクライム
- 風のまち音楽祭
- 赤城大沼ワカサギ釣り解禁
- 前橋ゆき並木フェスタ2010
- 前橋市生涯学習フェスティバル2010
- 前橋花火大会
- 赤城大沼白樺マラソン
- ホリエイブ前橋
- 前橋花火大会
- 第22回赤城山夏祭り ジヤスフェスティバル 柏川まつり
- 赤城山麓いしの里まつり
- ウインドミルフェスティバル
- マンドリンのまち前橋 朔太郎音楽祭
- グッドくんま
- 第62回前橋まつり
- 第22回前橋ウォークンクジャンボリー
- アマチアちんどん競演会 in 前橋
- 赤城山麓いしの里まつり
- 一日ワケン博物館
- 第53回全国日本実業団駅伝ユナイター駅伝開催
- 前橋初まつり
- 前橋空襲と都市復興(臨江閣)
- ニユーイヤ 駅伝2011ーいんぐんま
- 前橋空襲と都市復興(臨江閣)
- 前橋初まつり
- 第50回全群馬近代こけしコンクール
- 第21回赤城山雪まつり
- 前橋中心商店街 ツナガリズム祭り
- 駅からハイキング「桜咲く朝太郎の散歩道」
- まえばしサイクルフェスタふれあいサイクリング



23 代表幹事 町田 憲昭

大震災を契機に、「絆」の力を信じて、深めていくことの大切さを実感した印象的な年となりました。日本中を包んだ自粛ムードに、当会活動も、4 月例会、ローズクイーンコンテストの中止を余儀なくされました。しかし、前橋が全国会長研修の予定地に決定し、さらには私自身、県青連会長の職を務めさせていただくなど、年間を通じて、特別な年とすることができました。



4

緑水会の主な行事

- 14 日 災害支援活動 (福島県南相馬市 YEG)
- 20 日 平成 27 年度全国会長研修会誘致委員会
- 12 日 平成 22 年度卒業生送別会
- 22 日 前橋う TON 飯店(太田市本町大門通り) がんばろう日本! 第 1 回吞龍市
- 24 日 群馬県商工会議所青年部連合会通常総会 第 1 回群馬県商工会議所青年部連合会役員会
- 29 日 親子料理教室 太巻き編 ファミリー親睦例会
- 8 日 「う TON 飯」商標登録完了!
- 24 日 第 69 回定時総会
- 10 日 前橋七夕まつり クリーン作戦
- 20 日 高岡・前橋 YEG 情報交換会・懇親会
- 21 日 第 2 回群馬県商工会議所青年部連合会役員会



災害支援活動



ファミリー親睦例会



第 69 回定時総会



前橋七夕まつり クリーン作戦

前橋市の主な行事

- 第 56 回吉祥会全国大会
- 荻窪公園アジサイまつり
- 田口町ほたるまつり
- 大胡祇園まつり
- 第 61 回前橋七夕まつり (東北に届け 復興の願い)
- 第 20 回日本腎臓泌尿器疾患予防医学研究会
- 第 59 回電機連合定期大会



平成 23 年度 総務委員長 高野 和之

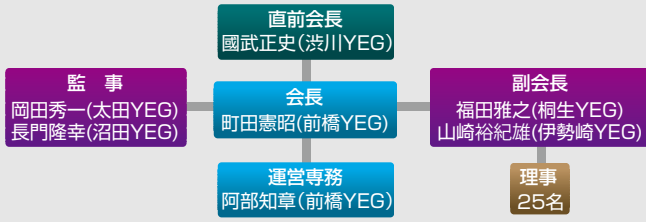
2 年間の総務委員長の大役を終え、無事に次年度に引継ぎをできるのも、委員会メンバーの皆様方、また、会員皆様方のご理解、ご協力あつたのことで、心より感謝申し上げます。昨年度は震災があり、日本中が激動の 1 年でありました。各企業においても大変な一年であったと思います。緑水会も例外無く、会をどう進めていくのか、何をすべきか、議論もありましたが、町田代表幹事の一言「まずは自分達の地域経済をまわすことが大事である。」という信念から、極力通常通り事業を行なわせていただきました。「絆」という言葉が合言葉のように飛び交い、自分が日本人であるということを、人生において一番意識した一年であったと思います。自分一人では答えが出なかったであろうことが、緑水会のメンバーと一緒に考え行動する中で、何かのヒントを頂いたように感じます。本当に緑水会に入会して良かったと思える一年でした。ありがとうございました。感謝。



平成 23 年度 広報委員長 長坂 雅紀

広報委員会と言う活動を通じ、青年部の活動力・行動力、そしてチームワーク力を体で感じる一年を過ごすことが出来た事に感謝致します。『緑水会』と言う伝統の名前のもと会員が自社企業の発展、前橋市の発展、そして日本の為に今出来るかを考えた一年だったと振り返ると感じます。広報として色々な発信をさせて頂きました。その中でもまえばしの絆イベントとして『3 万人の子供達のメッセージ』を震災地に届けさせて頂きました。一人では出来ない事、人と人との心の広報活動が出来た事に感謝し、そしてこの場を頂いた関係各位の皆様方に感謝致します。最後に広報メンバー、会員の皆さん本当にお世話になりました。

平成23年度群馬県商工会議所青年部連合会 組織図



- TV…家政婦のミタ、サッカー・AFC アジアカップ 2011・日本×韓国、サッカー・AFC アジアカップ 2011・決勝・日本×オーストラリア、サッカー女子ロンドン五輪アジア最終予選・日本×韓国、日曜劇場・JIN-仁、マルモのおきて
- 書籍…く芥川賞朝吹真理子「きこわ」、西村賢太「苦役列車」
く直木賞道尾秀介「月と蟹」、木内昇「漂砂のうた」
く2011 年間ベストセラー→東川篤哉「謎解きはディナーのあとで」
- ビジネス書籍…岩崎夏海「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」
- 音楽…フライングゲット、Everyday、カチューシャ、風は吹いている、上からマリコ、桜の木になろう (AKB48)、マル・マル・モリ・モリ! (薫と友樹、たまにムック。)、Lotus、迷宮ラブソング (嵐)、Everybody Go (Kis-My-Ft2)、ハレオはエメラルド (SKE48)
- 言葉…なでしこジャパン、絆、スマホ、どうしよう内閣、どや顔、帰宅難民、こたまでしょうか、3.11、風評被害、ラブ注入、おねえキャラ、がんばろう日本、計画停電、あげぼよ、君かわういねえ、除染、シーベルト、放射線量、メルトダウン、ホットスポット、内部被曝、節電、超円高、ユーロ危機
- 日経平均株価…8,455.35(終値) ■円相場(ドル)…81.68円(年初1/4)～77.57円(年末12/30)

8

13日
3万人のメッセージ(前橋公園)
こころひとつ響け!日本前橋の絆

30日
副市長 齊藤秀美氏
講師:前橋市長 高木政夫氏
行政との懇談例会

4日
MUM前橋大会(旧麻屋跡地・Qの広場)
第一次ご当地グルメ合戦

18日
前橋TTON飯出店
ぐんまのグルメ大集合!いせさきもんじゃまつり

21日
第3回群馬県商工会議所青年部連合会役員会

25日
前橋TTON飯出店(館林市役所東広場)
群馬DC 麺1グランプリ 館林

8日
第63回前橋まつり(8~9日)
こころひとつ。響け!日本

11日
結成式及び出発式(前橋警察署)
現役世代の防犯ボランティア団体

22日
第31回関東ブロック大会 さいたま大会
日本商工会議所青年部

25日
群馬県商工会議所青年部連合会親睦ゴルフ大会

1日
経営講師例会

5日
前橋TTON飯出店
おたイルミネーション オープニングイベント
講師:群馬ヤクルト販売(株)代表取締役社長 星野哲也先輩

13日
第4回緑水会&ダイヤモンドヘガサス
少年野球教室

14日
第4回群馬県商工会議所青年部連合会役員会
若手後継者育成事業講演会

22日
新入会員研修会

30日
青色防犯パトロール
若手後継者育成事業講演会
群馬県商工会議所青年部連合会



前橋の絆



第一次ご当地グルメ合戦



第63回前橋まつり



ダイヤモンドヘガサス野球教室

- 第23回前橋ウォーキングジャンポリー
- 第7回全国アマチュア子ども競演会 in 前橋
- 第53回日本小児血液がん学会学術集会
- 第17回日本最小侵襲整形外科学会
- 第24回赤城山麓いこの里まつり
- ウイビミルフエステイバル
- マンドリンのまち前橋 朔太郎音楽祭
- 第26回日本整形外科学会基礎学術大会
- 第28回日本シニアテニス連盟全国大会
- 第63回前橋まつり
- 風のまち音楽祭2011
(第1回まえばし赤城山ヒルクライム
まえばしフェスタ・風)
- ドッチボール大会ジャパンカップ
ベイシアン杯 全国小学生
- ブロック別児童厚生員等基礎研修会
- 前橋市生涯学習フェスティバル2011
- 第30回記念大会あかぎ・大沼白樺マラソン
ホリデーイン前橋
- ビッグバンドジャズフェスティバル
第23回赤城山夏祭り&
前橋市粕川まつり
- 第46回全日本学生トランポリン選手権
- 第19回全国中学生空手道選手権
- 第43回全国保育団体合同研究会



平成23年度
会員委員長
関 直人

会員委員会とは新入会員に会の魅力や活動内容等を少しでも多く理解してもらい、今後の緑水会活動を楽しんで行ってもらえる事を目標に活動してきました。その中で1年間会員委員会の委員長を務めさせて頂き、会員委員会のメンバーをはじめ多くの方々に支えてもらい私自身も成長する事が出来たと思います。人と人とのつながりの中で自分自身のスキルアップなど知らず知らずのうちに形成されているのだとあらためて思いました。
委員長としての緑水会活動とても充実して、本当に楽しくやらせてもらいました。1年間ありがとうございました。



平成23年度
経営委員長
宮下 学

経営委員会は、「経営者としての資質向上」という緑水会の中でも堅い部分を担っていますが、そこをブレないように心掛けながら1年間努めさせて頂きました。経営委員会のメンバーには、各事業における企画の段階から積極的な議論をしていただき、その結果、全員が参加できる「行政との懇談例会」、先輩である群馬ヤクルトの星野社長による理念を持った経営をテーマにした「講師例会」という2つの例会を無事開催することができました。1年間、熱く、そして楽しい委員会ができたことに感謝します。ありがとうございました!

- 2011年 4月 高崎市(群馬県)が中核市に移行。
東北地方太平洋沖地震地震の余震と見られるM7.1の地震が発生
「焼肉酒家えびす」で集団食中毒かかる事件が発生。死者数4人。
- 5月 大相撲で八百長が発覚した事を受け、春、夏場所が中止。
中部電力が、菅内閣総理大臣の要請を受諾し、浜岡原子力発電所原子炉の運転を停止した。
北海道旅客鉄道石勝線占冠駅・新夕張駅間で特急列車事故発生。
小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産の登録物件となる。
- 6月 平泉の歴史的建造物群が「平泉 - 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」の名でユネスコ世界文化遺産の登録物件となる。
長野県中部を震源とするマグニチュード5.4の地震が発生。
- 7月 東日本大震災後の夏場の電力不足に備え、東京電力と東北電力管内の大企業などに対し、昨夏比15%の節電を義務付ける電力使用制限令を発動した。
第6回女子ワールドカップドイツ大会。日本代表「なでしこジャパン」が初優勝した。
東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島を3県を除き、地上デジタル放送に完全移行した。
- 8月 島田紳助が暴力団関係者との交際を理由に芸能界引退を電撃発表し、即日引退。
内閣総理大臣・菅直人が退陣、民主党代表選挙にて、野田佳彦が民主党代表に選出された。

- 9月 民主党の野田佳彦前財務相は、第95代、62人目の首相に就任し、野田内閣が発足した。
台風12、15号が上陸し、記録的大雨による被害が相次ぎ、死者・行方不明者は計112人に上った。15号では、東海地方を中心に、避難勧告・指示の対象者が約140万人に上った。
- 10月 秋篠宮家の眞子内親王が成年になった。
- 11月 東京都墨田区の東京スカイツリーは、目標の高さ634メートルに到達し、英ギネス・ワールド・レコーズ社が、「世界一高いタワー」と認定した。
大阪府知事選と大阪市長選が開票され、橋下徹前知事が大阪市長、松井一郎前府議が知事にそれぞれ初当選し、橋下氏率いる地域政党・大阪維新の会が完勝した。
- 12月 皆既月食が日本各地で観測される。欠け始めから終わりまで全過程が観測できる好条件。
箱根大学駅伝 東洋大学が総合優勝。柏原竜二選手が山登りの5区で区間記録を塗り替え、主将として優勝に貢献した。
- 2012年 1月 広島県広島市の広島刑務所に服役していた中国籍の男が突如脱獄し、全国に指名手配されていたが、その2日後に市内の路上で発見され、身柄を確保、後に逮捕された。
- 3月 ロシア大統領選挙。第一回投票でウラジーミル・プーチン候補が6割を超える得票で当選。
アメリカ合衆国国勢調査局の推計で世界人口が70億人を突破する(国連人口基金による2011年版「世界人口白書」の推計では前年に突破)。

12

1

2

3

5日 合同親睦会

12日 年末特別警戒に伴う青ハト出発式(前橋警察署)

12日 群馬県商工会議所青年部連合会会長会議

17日 青年部クリスマスパーティー

7日 新春例会

26日 第5回群馬県商工会議所青年部連合会役員会

12日 第20回上州空っ風凧揚げ大会 in 前橋

17日 及び卒業生送別記念事業(17、19日)
第31回全国大会越中富山大会

23日 第70回定時総会

26日 群馬県商工会議所青年部連合会3月総会
第6回群馬県商工会議所青年部連合会役員会



青ハト出発式



第20回上州空っ風凧揚げ大会



第70回定時総会

第31回全国高等学校スケート・アイスホッケー競技選手権

第56回全日本実業団駅伝 ニューイヤール駅伝開催

前橋初市まつり

第23回赤城山雪まつり

第14回日本大鼓ジュニアコンクール

女子ソフトボール大会
第5回春季全日本小学生



平成23年度
地域委員長
倉林 健

本年度地域委員会は前橋うTON飯を中心とした活動になりました。前橋うTON飯は3年前の地域委員会から継続して行われ、数々のイベントから出店オファーが来るまでになりました。また、委員会の垣根を越えてプロジェクトチームを募りイベントをこなしてきました。これにより先輩後輩関係なく仲間という絆が生まれ、辛い中でも楽しさが発見できるようになりました。これこそが緑水会なのかなと感じました。
最後に前橋うTON飯プロジェクトを行うにあたり、永井副代表には背中を押していただき感謝しております。また、地域委員会率いるプロジェクトメンバーの皆様ありがとうございました。



平成23年度
事業委員長
平形 敦史

平成23年度事業委員会は、4月に予定していたローズクイーンコンテストが東日本大震災の影響により中止になるという過去に無いスタートとなりました。
これにより、第19代ローズクイーンの松本さん、高平さんには2年目も継続して務めて頂く事となり大変な御苦労をお掛け致しました。
このような状況でスタートした事業委員会ですが、その後は、高岡YEG交流会、ダイヤモンドベガサス野球教室、前橋まつりだんべえ部会、上州空っ風凧揚げ大会と与えられた事業を委員会メンバーの精力的な活躍と阿部副代表、町田代表幹事の御協力と御支援により、なんとか成功させる事が出来ました。一年間、事業委員長を何とか務められの、会員皆様の御協力の賜物であると痛感致しております。誠に有難う御座いました。



絆

- KIZUNA -

平成 23 年度活動の記録

私たち前橋商工会議所青年部緑水会は、
平成 23 年度「絆」をテーマに 1 年間を通して様々なイベントを
企画・運営し地域発展のため日々活動してまいりました。
ここでは、撮りためた記録の一部をご紹介します





松本亜希子

「感慨無量」2年間をまとめるとするなら月並みですがこの言葉が自然とできます。新しい環境、経験したことのない華やかさにいつもわくわくし、人との出会いが楽しいと思えた1年目。知らなかった前橋の魅力も再発見し、女性としても、前橋市民としても成長させて頂きました。2年目は震災の影響もあり喜ばしいスタートとはいえませんでした。何の力もない私ですが精一杯努める事が何かに繋がればという思いで努めさせて頂きました。1年目の経験を生かしてよりよい活動ができたと思います。また1年だけでは交流しきれなかった皆さんとも多くお話をさせて頂くことができ知識、見聞が広がった気がしています。夢のような経験を2年もさせて頂いたことは人生の宝物の一つとなりました。これからも前橋市内外問わず友人や出会った人に私なりの前橋の魅力を伝えて行きたいと考えております。大好きな前橋市がこれからもっと活気のある街に、より住み良い街になることを願っています。このような機会を与えてくださり2年間温かくご指導頂いたすべての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

「2年を振り返って」

高平茉実

薄ピンクの制服と帽子、そして素敵なハイヒール。一瞬にして魔法をかけられローズクイーンとして様々なイベントに参加させて頂き、たくさんの人と出会い、普段ではできない貴重な体験をさせて頂きました。

昨年には震災があり、日本中の人達が被災された方々に心痛められました。復興を模索し続ける中で人とのつながりや絆を強く結ぶことの大切さを伝えた年でもありました。前橋の行事は慎重の中でも人々の心に温かさや元気を与えており、それを身近に感じることができ感動を覚えました。そしてそこには、計画し実行されるまで絶え間ない努力と情熱があつたこと。人は人のために生き、支えあうものと改めて感じる事が出来ました。ローズクイーンとしての魔法が溶けても、皆様から頂きました教えややさしさを大切に、いつまでも明るく気品のある女性として日々を送っていきたいと思っています。

最年少で至らない私でしたが、前橋商工会議所青年部の皆様をはじめ関係各種の方々には、温かなご指導頂き感謝しております。今後も前橋市が益々の発展を遂げてゆきますよう応援し続けたいと思います。最後にこのような機会をくださいました皆様、本当にありがとうございました。



平成24年度前橋商工会議所青年部 緑水会

NEW MAEBASHI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP STRUCTURE

直前代表幹事 前田 修 (株)マエダスタジオ

平成24年度、三年目の直前代表幹事を務めることとなりました。昨年は3月に発生した東日本大震災により経済情勢も大変難しく揺れ動いたにもかかわらず、沢山の事業を行うことができたのも会員メンバーの強い絆の証だと思っております。今年は創立35周年記念式典が開催されます。これらの経験を基礎とし、平成27年度の全国会長研修会開催に向けてのプロセスを創り、良き仲間達と共に1歩を踏み出す勇気と新たなる局面に立ち向かい、これからの緑水会活動を会員メンバーみんなでしっかり支えて頂きたいと思っております。

副代表幹事 永井 鉄平 (株)永井組

今年度、昨年に引き続き副代表幹事を仰せつかり総務委員会と会員委員会を担当しますが、二人の若い委員長を全力でサポートしていきたいと思っております。私たちを取り巻く環境は、昨年3月11日に起きた東日本大震災以降、まだまだ厳しい状況が続いています。そんな中、私たち緑水会は今年創立35周年を迎え、例年の事業をこなしながらの4年後に迫った全国会長研修会への準備のスタート等、今年はかなり忙しい1年となります。私も会員のみなさんと一緒になって、町田代表幹事を精一杯盛り上げて行きたいと思っております。今年1年よろしくお願いたします。

副代表幹事 宮下 学 宮下工業(株)

昨年度までは委員長を務めてまいりましたが、今年度は副代表幹事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。町田代表幹事、そして両先輩副代表幹事のもと、緑水会がより発展できるよう心掛けて努めてまいります。担当の委員会は、経営委員会と中長期ビジョン委員会であり、今年度の事業、そして今後の緑水会事業と多岐にわたりますが、各委員会メンバーがより多く参加し活発な意見を出せるような委員会となるように、微力ではありますが委員長をサポートし盛り上げたいと思っております。1年間、よろしくお願いたします。

副代表幹事 高野 和之 (株)高野商店

今年度、副代表幹事の大役を仰せつかりました。広報委員会と地域事業委員会を担当させていただきます。町田代表幹事のもと会員皆様と共に自社企業のため、自分のため、地域社会のために緑水会活動を有意義なものになるよう努力をしていきたいと思っております。私自身の今年度の役割は、委員長を中心に委員会活動が円滑に進められるように、側面からサポートをして、メンバー全員がこの1年を終えたとき、緑水会に入会して良かった、役に立ったと思えるような年に出来ればと考えています。

会員相互のコミュニケーションを大切に、時には意見をぶつけ合い、時には楽しくお酒を飲み、有意義な会員の出会いの場を皆さんでつくりつて行きましょう。

監事 森本 克哉 (株)小松屋本店

現在の自分が緑水会の監事として「会に対し何が出来るか」という事を考えた時、「創立35周年を迎える緑水会の歴史を振り返り、自分が入会してから体験し学んだことを次世代に伝えていくこと」ではないかと考えました。卒業年度の自分が、先輩達から教わったことや緑水会のメンバーとして学んだことをどのようにしてメンバーに伝え、活かしてもらおうかを考えながら1年間頑張ろうと思っております。1年は、あっという間に過ぎてしまいます。日々を大切にしながら、いろいろな人との出会いや一生懸命学び勉強したことを伝え、後に「緑水会に入会してよかった」と言ってもらえる様になればと思います。

監事 新井 義宗 群央繊維工業(株)

Sanskrit語、即ち梵語の中に「煩惱」と言う言葉があります。人には百と八つの妄念が有るといわれる。その108の煩惱の一つ一つを断ち切り未来永劫に歴史を伝承した、創生していくのが今に生きる我々に課せられた責務でも在り創意であると考えます。今から108年前の1904年、我が国は大国である帝政ロシアと開戦しました。当時アジアの小国・日本が勝利したのは、一兵卒や一国民が一つになったからこその大勝でした。また、開戦にあたり水面下では緻密な情報収集も要因だった。

緑水会35年間の歴史と、その歴史を伝承して頂いた諸先輩に感謝しつつ、これから行われる大事業に緑水会一丸となり成功し祝杯を挙げられる事を願信致します。

総務委員会 委員長 小林 祐介 (株)小林工業

「会の運営が円滑に進むように、微力ですががんばっていきます。総務委員会のメンバーの方々よろしくお願いたします。」

広報委員会 委員長 高橋 功二 (株)フジプランニング

緑水会のより一層の認知度の底上げの為、各種メディア(ラジオ・TV・ネット)を使用した広報活動および、ローズクイーンが前橋市の観光特使として上手く機能するためのサポートに一年間務めます。

会員委員会 委員長 宇野 友洋 (株)宇野製作所

当会の仲間に加えていただいてから、はや8年が経ちました。ここでの出会い、出来事が社会人としての私の成長を支えてくれました。感謝!!今年度、会員増強という重責を託され、微力ながら楽しく務めてまいりたいと思っております。

経営委員会 委員長 野村 雅弘 (株)北関スクリーン

有意義な学びの場、行政との交流の場をご提案しながら、メンバーと共に楽しみ、共に成長させて頂きます。

地域事業委員会 委員長 長坂 雅紀 (株)北栄

35年の伝統のもと『前橋市が好き』を合言葉に、この節目の年に青年経済人として何が出来るかを考え行動したいと思っております。

中長期ビジョン委員会 委員長 阿部 知章 (有)徳栄

35年の歴史をしっかりと認識し、今後の青年部活動の課題について理解、検討を行ってまいります。



後列左から：長坂雅紀、宇野友洋、小林祐介、高橋功二、野村雅弘、阿部知章、
前列左から：森本克哉、宮下 学、前田 修、町田憲昭、永井鉄平、高野和之、新井義宗

平成24年度前橋商工会議所青年部組織図

ORGANIZATION DIAGRAM



会員数105名：平成24年6月4日現在

年度別名簿

<p>■ S42年度生</p> <p>新井 義宗 大澤栄一郎 角田 健一 富澤 吾一 中村 有香 深澤 和之 深澤 哲生 森本 克哉</p>	<p>■ S44年度生</p> <p>安孫子 健 阿部 知章 池田 広之 大淵 尚親 河瀬 修吾 木村 道俊 佐川 哲一 佐藤 敬 塚越 正浩 寺澤 達也 春山 和久 樋口 朋幸</p>	<p>■ S46年度生</p> <p>伊藤 貴宏 井上 直也 岩井 俊次 関 隆行 曾根 利光 堀口 晃一 本多 秀彰 松本 健</p>	<p>■ S48年度生</p> <p>五十嵐勝治 亀井 太一 久保 誠 関 直人 立見 公一 鳥越 淳司 野村 雅弘 福島 信輔 南山 弘</p>	<p>■ S51年度生</p> <p>天田 洋平 宇野 友洋 高橋 功二 渡邊 辰吾</p>	<p>■ S55年度生</p> <p>金井 誠 樋口 拓人 藤生 武久</p>
<p>■ S43年度生</p> <p>飯塚 輝明 岸部 平 長坂 雅紀 中津山俊輔 林 豊 福田 聡樹 星野 大輔 吉田 将輝</p>	<p>■ S45年度生</p> <p>亦野 高裕 植木 威行 久保田雅幸 後藤 寛之 寺島 崇雄 永井 鉄平 難波 努 橋本 毅夫 町田 憲昭 宮下 博和</p>	<p>■ S47年度生</p> <p>岡村 好樹 神澤 敏夫 倉林 健 塩原 健 高野 和之 田仲 恒夫 寺沢 勇 中島 薫</p>	<p>■ S49年度生</p> <p>小野里拓也 熊木 宏 萩原 勝 羽生田泰文</p>	<p>■ S52年度生</p> <p>小林 祐介 斉藤 美絵 須川 和紀 高橋 慎二 田中 加奈 西巻佐和子 福嶋 隆弘 韓 真希 丸橋美由希</p>	<p>■ S56年度生</p> <p>長島 毅 若井 良昭</p>
			<p>■ S50年度生</p> <p>池津 崇延 遠藤 宗司 大門 龍一 中島 伸二 藤咲 英樹 町田 晶也</p>	<p>■ S53年度生</p> <p>岸 久美子 佐藤 有紀 田中 淳 綿引真之介</p>	<p>■ S57年度生</p> <p>市川 麻紀</p>
			<p>■ S54年度生</p> <p>小池 常雄 田子 宏美</p>	<p>■ S58年度生</p> <p>門倉 稔 関上 舞衣</p>	<p>■ S61年度生</p> <p>大関 光嗣 福井 優一</p>

VOICES from graduates

平成23年度卒業会員よりひとこと



稲村 啓 / (株)丸大オアツヤ商店 平成5年8月4日入会

緑水会もついに卒業する時がきました。お陰様で沢山の方にご縁を頂き、この会ならではの色々な経験をする事が出来ました。続けられることが出来たのも、熱い仲間がいたからこそだと思います。19年在籍させていただき、最後の神輿で拍子木を渡されたのは何にも代え難い最高のサプライズでした。生まれ育った前橋を未来永劫に渡り私たちが、また子供達が誇れる前橋にしていくために現役の皆様の更なる活躍を祈念しています。



海老沼 孝之 / イーケーエレベータ(株) 平成16年6月4日入会

前橋商工会議所青年部緑水会に入会したのが、平成16年6月で、7年が経過しました。もともと、高崎市の住人だった私を、快く入会させて頂き、感謝しています。この七年間で、様々な前橋市の行事に参加させて頂いたり、前橋祭りでは、大人神輿の部長までさせて頂きました。その中で、理事・副委員長・委員長もさせて頂き、また、会員皆様の協力を得て、大きな事業も楽しく、大盛況で出来ました。(本当に有難う御座いました。)この委員長経験も大きな記憶と共に、私の人生での大切な思い出になっています。先輩方から学んだ事、会員皆さんから教えられた事等を、今後も活かし、頑張ります。短い期間の在籍でしたが、本当に有難う御座いました。皆さんの今後の活躍を祈念しております。



星野 洋一 / (株)文真堂書店 平成11年12月6日入会

久しぶりに緑水手帳を見てみました。私は平成11年12月6日に入会していました。13年間、大変お世話になりました。いまさらではありますが、その間、あまり積極的に参加できなかったことが悔やまれます。みなさんに先輩らしいことは一つできませんでしたが、いつも暖かく迎え入れてくれて、本当にありがとうございました。私を反面教師として、悔いのない緑水生活を送ってください。



中村 丙午 / 群馬日野自動車(株) 平成14年6月3日入会

もう45歳、緑水会を卒業となってしまいました。幽霊会員の私でしたが、町田代表幹事に声をかけていただき理事になってから緑水会 のことが少し見えるようになり、役員会だけでもと思えるだけ出席するように努めました。このことは大変良い経験をさせて頂きました。会のために何を残せたわけではありませんが、同年代の異業種の方々と交流ができた ことがなよりの貴重な経験ができた と思っております。最後に緑水会の皆様、そして前橋商工会議所の皆様のご繁栄を申し上げますと共に皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



八木原 重雄 / (株)発田 平成11年6月4日入会

入会当時はヤクルト星野社長が委員長を務める会員委員会に入り、色々な行事に、積極的に参加したいとの抱負を述べたもののその後5年間は軽井沢に支店を出した関係でばったり会に参加出来なくなり瞬く間に卒業の歳となってしまいました。しかし、最後の年に高野委員長のもと総務委員会でも色々経験させて頂き思い出深い一年を過ごすことが出来ました。お世話になった、緑水会会員の皆様、そして会議所の皆様大変ありがとうございました。



根岸 雅一
(有)花の芙蓉苑
平成9年6月3日入会

新入会員募集



会員委員長
宇野 友洋

message

会員委員会は新たな会員の方が所属する委員会です。主に会員同士の親睦交流に関する行事を受け持ち、同時に緑水会の基礎を学んでいただきます。入会される方にとっても、我々にとっても、人脈を広げるということは、ビジネスや自身の成長に繋がる出会いがきっとあるはずです。多くの仲間と出会い、語り、経験し、自己研鑽をすることが企業や地域の発展につながると緑水会一同考えております。一緒に活動していただける方のご入会をお待ちしております。

入会案内

当会では、前橋市在住もしくは、前橋市内にて事業を営んでおられる方を対象に広くメンバーを募集しております。

会員条件

- 前橋市在住もしくは、前橋市に法人がある事業者もしくは、その社員。
- 満20才以上満45才未満の方。

Q1. 緑水会って何をしているの？

A. 地元の青年経済人が資質を研鑽する会です。会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな郷土づくりに貢献しています。

Q2. 集まりは必ず出ないダメなの？

A. 基本的には毎月2回程度、仕事優先で出欠は自由ですが、多くのメンバーが自分の時間を自己管理して積極的に参加しています。

Q3. 40歳過ぎてからの入会は大丈夫ですか？

A. OKです。45歳で卒業ですが、その後も「緑詩会」というOB会で交流しています。

Q4. 入会方法は？

A. 下記のウェブページもしくは事務局へお電話を。お気軽に何でもお尋ねください!
<http://www.maebashi-yeg.com/>



それは、自分たちの活動に対する責任感、そして、YEGの一体感の輪を力強く広げるバトン。

そのバトンは、先輩から現役会員、そして後輩へ。

そのバトンは、仲間へ、家族へ、そして地域社会へ。

バトンをただ渡すのではなくて、大切なのは繋がること。価値観を共有すること。

35周年という節目である本年、先人の偉業に敬意を払い、その歴史を学び、会員相互で価値観を再認識し、「Pass the BATON」で絆の力を強め、未来に向かって歩み始める年にしたい。

